

# 食道・胃腸内科

## 1) 研修スケジュール

月	15:30~ 回診後カンファレンス	17:00~ 内視鏡カンファレンス
---	----------------------	----------------------

### 【消化管検査実技】

1. 上・下部消化管内視鏡、内視鏡治療：毎日 担当患者は基本行ってもらいます。
2. 腹部超音波検査：毎日
3. 消化管エックス線造影検査 研修：月曜日 午前中

## 2) 食道・胃腸内科における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修 終了時	指導医 記入欄
1.	消化管疾患に関する、正確で系統的な診察(問診・身体所見)ができ、診療および一般検査所見から原因となる消化管の病変部位、病態を推定できる。			
2.	腹部症状から鑑別診断をあげ検査計画を立てることができる。			
3.	病態もしくは検査結果に基づいた治療方針を患者・家族に説明できる。			
4.	消化管疾患に対して実際に治療を行い、その治療効果を客観的に評価できる。			
5.	総合内科専門医取得に必要な消化管疾患を経験する。			
6.	消化管X線検査および内視鏡検査、腹部超音波検査を実践し、その基本的な手技を習得する。			

a=十分できる b=できる c=要努力(3段階評価) / ?=評価不能

## 3) 経験できる疾患や手技

<b>経験できる疾患</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・逆流性食道炎/好酸球性食道炎</li> <li>・食道アカラシア</li> <li>・食道がん(早期、進行)</li> <li>・急性胃炎/慢性胃炎</li> <li>・ヘリコバクターピロリ感染胃炎</li> <li>・胃/十二指腸潰瘍(薬剤性を含む)</li> <li>・胃がん(早期、進行)</li> <li>・胃粘膜下腫瘍</li> <li>・クローン病(小腸・大腸)</li> <li>・潰瘍性大腸炎</li> <li>・ベーチェット病</li> <li>・感染性腸炎(細菌性、ウイルス性)</li> <li>・大腸ポリープ</li> <li>・大腸がん(早期、進行)</li> <li>・イレウス</li> <li>・消化管出血、消化管異物</li> <li>・小腸腫瘍</li> <li>・消化管リンパ腫など</li> </ul>	<b>経験できる手技</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・末梢ルート確保・カテーテル挿入</li> <li>・静脈注射(鎮静)・筋肉注射</li> <li>・腹部超音波検査</li> <li>・消化管エックス線造影</li> <li>・食道・胃・小腸・大腸</li> <li>・消化管内視鏡検査</li> <li>・上部(胃カメラ)小腸、大腸</li> <li>・超音波内視鏡検査(EUS)</li> <li>・カプセル内視鏡(小腸・大腸)</li> <li>・大腸CT検査(仮想内視鏡)</li> <li>・イレウス管挿入(介助)</li> <li>・内視鏡的止血術(介助)</li> <li>・内視鏡的捻転解除術(介助)</li> <li>・内視鏡的治療(介助)</li> <li>・ポリペク、EMR、ESD</li> <li>・ステント留置(介助)</li> <li>・消化管バルーン拡張術(介助)など</li> </ul>
--	---

# 食道・胃腸内科

## 4) 推薦書籍



**難易度★**

**コメント**

内視鏡のいろはがわかります。内視鏡センターに置いてあります。



**難易度★★**

**コメント**

検査と病理の対応できます。



**難易度★★**

**コメント**

消化管エコーのバイブルです。



**難易度★**

**コメント**

消化管疾患のほぼすべてを網羅したきれいな画像集。

★当科作成特製の虎の巻もあります。(消化管入局希望者は申し出てください)

## 5) 事前アンケート

1. 将来内科系に進む可能性がありますか？ (Yes No)
2. 以下のものから特に興味のあるものを選んでください(複数選択可)。
  - a. 内視鏡検査
  - b. 内視鏡治療
  - c. 消化管エコー
  - d. X線造影検査
  - e. カプセル内視鏡
  - f. 3次元CT
  - g. 腹部救急
  - h. IBD
  - i. がん治療
3. 当科研修中、時間外の急患診療への参加を希望されますか？ (Yes No) (差し支えがなければ教えてください。)
4. 学会発表や論文作成に興味がありますか？機会があればしたいですか？ (Yes No)

## 6) 自由記載欄 (研修について要望などがあれば記載してください。)

## 7) 研修終了時、指導医との振り返り (必ず記載し指導医がセンターに提出)

できるようになったと思うこと (研修医記載)	不十分だったと思うこと (研修医記載)
できていると思うこと (指導医記載)	今後頑張ってほしいこと (指導医記載)
指導医氏名 (押印可) _____	
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか ~次へのアクションプラン (研修医記載)	

研修医氏名 \_\_\_\_\_

# 肝胆膵内科・胆膵インターベンション科

## 1) 研修スケジュール

月	17:30 組織カンファレンス、新患カンファレンス
火	17:00～ 肝胆膵・放射線合同カンファレンス、薬剤説明会(適時)、胆膵カンファレンス
水	
木	13:30～ 全体カンファレンス・教授回診
金	8:00～ 抄読会

## 2) 肝胆膵内科・胆膵インターベンション科における形成的評価のための項目

形成的評価のための項目		研修前	研修終了時	指導医記入欄
1.	肝臓・肝疾患について説明できる。			
2.	食道・胃静脈瘤について説明できる。			
3.	肝関連疾患の基本手技を理解・実践できる。			
4.	楽しみながら常に研究心を持って仕事をする事ができる。			
5.	体外式腹部超音波で肝胆膵領域をスクリーニングできる。			
6.	急性胆嚢炎、胆管炎、膵炎などの急性期疾患を診断でき、治療計画を立てることや初期治療ができる。			
7.	ERCPを含めたその他処置の術前・術後管理ができる。			
8.	側視鏡の特性を理解し、胃内をスクリーニングすることができる。			
9.	患者と良好な関係を築き検査結果等を分かりやすく説明できる。			

a=十分できる b=できる c=要努力(3段階評価) / ?=評価不能

## 3) 経験できる疾患や手技

<p><b>経験できる疾患</b>                  肝炎 急性肝不全 肝性脳症                  食道・胃静脈瘤 肝硬変 慢性肝不全                  肝癌 肝膿瘍 症候性肝嚢胞など                   急性胆嚢炎 胆嚢結石 胆嚢癌                  胆嚢隆起性病変 胆嚢ジスキネジア                  急性胆管炎 硬化性胆管炎等 胆管癌                  急性膵炎 膵膿瘍 膵嚢胞疾患 (IPMN MCN SCN SPN等)                  慢性膵炎 膵癌 自己免疫性膵炎などの自己免疫性疾患 その他</p>	<p><b>経験できる手技</b>                  肝生検 病理解剖(数件/年)                  経皮的ラジオ波焼灼療法(RFA)                  肝動脈化学塞栓療法(TACE)                  肝動脈化学療法(HAIC) 肝嚢胞硬化療法                  内視鏡的静脈瘤治療(EVL,EIS)                  バルーン閉塞下逆行性静脈塞栓術(B-RTO)                  経皮的肝膿瘍ドレナージ術(PTAD)                  腹部超音波検査 中心静脈カテーテル留置                  EUS ERCP PTGBA,PTGBD                  胸腹水穿刺 ドレナージ系                  上部消化管内視鏡(側視鏡観察も含める)                  その他</p>
---	--

# 肝胆膵内科・胆膵インターベンション科

## 4) 推薦書籍



**難易度★★★**  
**コメント**  
肝疾患について基礎的内容から臨床的な内容まで幅広い情報を網羅。



**難易度★★**  
**コメント**  
肝胆膵疾患について治療も含めて記載有。



**難易度★**  
**コメント**  
胆道IVRのほぼすべて記載有。図が多くイメージしやすい。



**難易度★★**  
**コメント**  
膵炎についてほぼ全て記載。



**難易度★★**  
**コメント**  
胆道炎についてほぼ全て記載。

## 5) 事前アンケート

1. 将来的な進路は内科系ですか？外科系ですか？（今の段階で結構です。）
2. 緊急処置がある時は呼んで欲しいですか？
3. 学会等あれば出来るだけ参加したいですか？

## 6) 自由記載欄（研修について要望などがあれば記載してください。）

## 7) 研修終了時、指導医との振り返り（必ず記載し指導医がセンターに提出）

できるようになったと思うこと（研修医記載）	不十分だったと思うこと（研修医記載）
できていると思うこと（指導医記載）	今後頑張ってほしいこと（指導医記載）  指導医氏名（押印可） _____
今後具体的にどんなことに注意して研修をしたいか ~次へのアクションプラン（研修医記載）	

研修医氏名 \_\_\_\_\_